



A先生の新語コーナー



Qiānrén jìhuà “千人计划”

千人計画。5、10年をかけて海外から1000人の優秀なハイレベル人材を導入する計画。応募する資格があるのは海外で博士号を取得した55歳以下の人で、少なくとも6ヶ月は中国国内で活動できること。海外の有名な大学・研究所に勤務する教授クラスの専門家・学者、国際的な企業で高級職を担当する技術と経営管理のエキスパート、海外で起業した経験を持つ人などがその対象となり、採用時に100万円の一時金が支給されるという。(A)

安藤彦太郎先生を悼む

去る10月27日、安藤彦太郎先生が入院中の阿佐ヶ谷の病院で永眠されました。安藤先生は、1985年に、急逝された藤堂明保先生の後を引き継いで、倉石武四郎先生、藤堂先生に続く日中学院の第三代の学院長に就任されました。その後、2005年、吉田隆司前学院長に後を託して勇退されるまで、20年間にわたって学院長として日中学院の発展に尽くされ、勇退後も名誉学院長として日中学院の事を心にかけてくださっていました。

安藤先生の学院長就任後、日中学院は、前任の藤堂先生の病身をおしての奮闘が実を結んで仮住まいから現在の校舎に移転することができました。学生数も増えて、財政的な面では比較的安定した経営をすることができるようになりました。しかし、この時期は、日本と中国をめぐる様々な問題の起こった時期でもありました。1989年の天安門事件は忘れられません。人民解放軍による民主化を求める学生への弾圧という事態に接し、日中学院では教職員全体会議が開かれ、声明を出しました。また日中戦争期の日本による中国への侵略の歴史を否定する言論が声高に主張されたのもこの時期でした。その頃には、日中学院周辺にも右翼団体の外宣車がたびたび現れて大音響で罵詈雑言を流し、授業を妨害することもありました。この時期には学院内外の間

題をめぐる日中学院の会議の席で論議が紛糾することもありました。そんなとき安藤先生はいつもメンバーの一人として発言されるだけで、決してご自分の意見を押し付けることはなく、会議の決定を尊重して行動されました。安藤先生のご苦勞はひとしおだったことと思われます。

安藤先生は、様々な問題に対処される一方、常に日中学院の教育の質を高めていく必要性を強調され、教職員が学習の機会を持てるように心を砕いてくださいました。多くの日中学院講師が参加して、安藤先生の指導のもとで、『廖承志文集』の翻訳をおこなった仕事などはそのひとつの成果だったと思います。

安藤先生は学院長として最大限の力を日中学院に注がれました。日中学院で次の世代を育てることが、「子々孫々」までの友好という言葉を実現する道だと考えていらっしたのだと思います。現在の日中学院の教職員の中には、安藤先生が学院長をされていた時代に日中学院の本科、別科で学んだことのある人もたくさんいます。私たちは安藤先生のお考えを受け継ぎ、これからも日本と中国の友好を願い、教職員の力を合わせて、質の高い教育をめざして努力を続けてまいりたいと思います。

安藤先生ありがとうございました。
心からご冥福をお祈りいたします。

2009年

写真で振り返る

日中学院文化祭



今年も無事、文化祭が終わりました。委員の皆さんと、そして各クラスの皆さんの活躍で、模擬店の売り上げもよく、劇も大成功のうちに幕を下ろすことができました。校友会、別科、日本語科の皆さんにも素晴らしい出し物を見せていただけて、最高の文化祭になりました。来年や再来年も、素晴らしい文化祭になるよう心から祈って止みません。

文化祭実行委員長 今岡 大介



「太極拳表演」



本科2B「ねずみのお嫁さん」



本科2A「病人」



本科 1B「借鍋」他



宋知秋同学「ピアノ演奏」



校友会合唱クラブ



日本語科2-2「合唱」



別科朗読大会代表



中国民族楽器の合奏

模擬店&展示



本科2A「水餃子」



本科2B「豚汁」



本科1年「お粥」「茶蛋」



本研「タピオカミルク」



林敏さん絵画展



中国写真展／書道展



日本語科1-1「桃太郎」



日本語科2-1「合唱」



昆曲「牡丹亭」



本科1A「かぐや姫」



校友会「ピースリーディング」



有志「相声」



別科有志「合唱」



本研「别扭話」



「人与狗」

私は8年前から日中学院の別科でお世話になっておりますが、今回初めて文化祭の催しに参加させて頂く事になりました。私は子供の頃から音楽は好きな方でした。折角中国語を勉強する機会がありましたので、中国から来日された留学生の方とも日中の名歌集を通して良き日中交流ができたら？と思ひ有るカルチャースクールにて中国の歌を習い始めました。カルチャースクールでは主に中国の民謡をはじめ、日本の歌、世界の歌を日本語と中国語で唄います。私は中国の歌は民謡だけでは無く流行歌等、もっと幅広い分野の歌を覚えて中国の方と一緒に唄いたいと思っておりました。時々中国人の友人や中国語を勉強している日本人の友人と一緒にカラオケに参加した時に友人が唄う歌を聞いたり、CCTVの同一首歌、中華情の番組を見ながら、少しずつ中国の流行歌も覚えて行く様になりました。今年の4月の下旬だったと思います。授業が終わり帰宅しようと思ひましたときに「合唱クラブ」のチラシを見付けました。中

国の音楽に関心が有る私は「参加して見よう」と思ひましたので教室へ行きました。授業の内容も互いに「この歌を唄いたい」と言う希望が有れば出し合って皆で楽しく唄う。私は合唱の授業も本当に楽しく感じておりますので、体調不良の為に日中学院の授業を休む事が無い限りは、参加させて頂きたく思っております。文化祭で合唱クラブは「朋友」「YELL」「里の秋」の3曲を唄いました。「YELL」はメロディーも長く混声三部合唱になっていたので合わせるのに難しい部分も沢山ありました。でも難しいだけに唄えば唄う程、この歌の素晴らしさを感じました。家でユーチューブで聞きましても男性の唄う部分と女性の唄う部分のハーモニーが本当に綺麗でした。練習の時は男女で合わせにくい箇所も有りましたが、難しい部分を何回も繰り返し繰り返し練習致しましたので文化祭では大成功したと思ひます。これからも日中の名歌集を紹介頂けたらと思ひます。

本科研究科B班 翻訳 授業報告

本科研究科B班では、夏休みの宿題として「夏休みの一日」という題の作文(中文と日文)を提出してもらいました。その後翻訳の授業の中で、クラスメート達と共にアイデアを出し合いながら日本語への翻訳を行いました。夏の一日の出来事から、留学生達の生活の一端を垣間見ていただければと思ひます。(指導:長沢講師)

一个人生活的第十二天

本科研究班 B班 王晗寒

一起过日子的男朋友趁着暑假回到了“阔别”2年的中国。也就是说，8月1日的暑假一开始，我就开始一个人生活了。习惯了身边有个人陪的我，着实痛苦了很久。一个人在一间一室一厅的房间里起居，总觉得空荡荡的。而且还要一个人应对“夺门而入”的蟑螂呀，蚊子的。但是，最不适应的还是没人陪我说话。

死党们似乎体会到了我的孤独一样，一有空就打电话来问候我过得可好。还约定8月12日的今天来我家包饺子开party。终于盼到了今天。上午10点，在车站迎接从四面八方赶来的三位女孩。然后在车站周边的几大超市大肆购物了一番。女孩子嘛，都是有2个肚子的。不管吃多少正餐也有空间吃得下零食和甜点的。所以免不了驻足在零食货架前，互相推荐，互相介绍的，不一会儿就选了一大篮。再加上包饺子所必需的各种材料，装了满满一购物车。

满载而归。途中经过游乐中心时还不忘玩一场太鼓达人淘汰赛。四人轮流上阵争夺冠亚军。直到意识到身边站着一个人似乎等了很久的小学生，我们这些阿姨级的女人才不好意思地停下来让出了位子。

“那小男孩肯定没少骂咱们!”

“对!对!这帮大妈还不赶紧回家做饭去!”

“哈哈!咱们这叫童心未泯!”。

说着笑着回到家开始包饺子，因为偷偷地包了几个特殊的馅儿，还美其名曰“幸运饺”，所以每个人吃起来都特别带劲儿。饺子一出锅，大家就像猛虎扑食一样，都盼着能多吃到这种幸运饺。吃得差不多了开始玩扑克，规定输的人再吃饺子。就这样，四个女孩疯狂地吃掉了 150 个饺子!晚上 9 点，挺着混圆的肚子的我，送另外 3 个圆肚子去车站。

“谢谢大家!今天超级开心!”

“客气什么!这么见外!”

对!不客气!因为我们是在日本的一家人!

一人暮らしの十二日目

本科研究科 B 班 王晗寒

ずっと一緒に生活していた彼は夏休みを利用して、2年ぶりに帰国した。8月1日の夏休みから、やむなく一人暮らしが始まったのだ。そばに誰かがいてくれることに慣れてしまった私は急に一人きりになって、とても辛かった。毎日生活をしている 1 DK の部屋も急にならんとしてきた。それに、侵入してきたゴキブリや蚊を自分で退治しなければならない。でも何ととっても一番慣れないのは話し相手がいないことだった。

親友たちは私の寂しさを分かってくれたようで、いつも電話をかけてくれたり、私が一人でも元気でやっているかどうかと聞いてくれたりする。そして、8月12日に私の家でギョーザパーティーをしようと約束しておいた。いよいよこの日だ。午前10時、色々なところから集まってきた三人を駅まで迎えに行った。その後、駅周辺のスーパーで思う存分ショッピングをした。女の子にとって、お菓子やデザートは別腹らしく、いくら食べても限界はない。だから、お菓子の陳列棚の前に長時間立ち止まるのはあたりまえだ。お互いに勧めあったり紹介しあったりしてるうちに、買い物カゴは溢れんばかりになってしまった。ギョーザの食材も加えると、カートもいっぱいになった。

ぎゅうぎゅうに詰めたビニール袋を手にながら帰る途中、ゲームセンターに寄り、『太鼓の達人』PK戦で優勝を狙って4人で順番にやり続けた。しばらくしてやっと、何となく隣でずっと待っていた小学生に気づき、いい年をした私たちは急にばつがわるくなり、順番を譲ってあげた。

「あの子、絶対にあたしたちの悪口を言ってたよね!」

「そうそう!『おばさんたちさっさと帰ってごはんを作れよ』って!」

「ハハッ、あたしたちだって遊びたいもんね〜」

しゃべったり笑ったりするうちに家に着いて、ギョーザを作り始めた。特別なギョーザをこっそり作って、「ラッキーギョーザ」という名をつけたので、みんなもわくわくしてきた、私たちは「ラッキーギョーザ」をできるだけ沢山食べようと思ったから、飢えたトラがヒツジに飛びかかるような勢いで、煮上がったギョーザを食べ始めた。そろそろお腹がいっぱいになる頃、トランプを始めた。負けた人は罰としてまたギョーザを食べなければならないと決めた。こうして女の子四人は凄まじい勢いで 150 個のギョーザを食べきった。夜9時、真ん丸のお腹を突き出した私は、もう3つの真ん丸お腹を駅まで送ってあげた。

「今日は一日ありがとうね!ちょーうれしかった!」

「なによ!水臭いなあ!」

そうだよな!あたしたち、日本では家族と同じだものね!

バスツアー参加の記

別科ステップアップ 目黒 久義

9月26日(土)日中学院校友会主催の留学生との交流バスツアーが開催された。毎年この時期に実施されているようですが私は今回が初参加。行き先は都下檜原村「東京のチベットに行く 数馬の湯と滝めぐりの旅」が謳い文句です。

当日は透き通るような青空でまさに行楽日和。

参加者は日本人13名中国人12名総勢25名、年配者から引率者の日本語科松本先生の坊やを含めたバライティに富んだ家族的雰囲気構成となる。座席は日本人と留学生とが組み合わせで、私の隣がなんと若き中国人女性、オヤジとしては(昔の基準では、紛れも無い老人ですが・・・)華やいだ気分となり、隣席のS嬢と片言の中国語と日本語のチャンポンで話し始める。



バスに揺られながら全員の自己紹介が済み各所で会話が弾みバス全体が楽しい雰囲気になってくる。そうこうするうちに檜原村へと入り当日のツアーの基点となる都民の森へ到着。ガイドさんの案内で当日の目玉の一つである「三頭大滝」観覧への散策となる。

自然林の中だけにやはり空気が美味しい、散策路に敷き詰められたウッドチップも足に優しく快適この上ない。ところどころでガイドさんがこの土地の草花や樹木を説明してくれ、散策が一層楽しいものとなった。

途中に見晴らしの良い展望台があり、そこからの眺望が見事の一言。雄大な景観はとても東京とは思えません。贅沢を言えば折角の山深い景色の中に舗装道路が目に入るのが玉に瑕ですがその道路が無ければバスに乗って来られないのですから、これは身勝手と言うものでしょう。

しばらく歩いて目的地の三頭大滝へ到着、滝見橋から大滝を眺める。滝見橋は文字通り滝を眺める為に作られたような絶好のロケーションです。

散策を終えて次なる目的地「数馬の湯」へと移動し昼食、温泉のはこびとなる。昼食は釜飯で散策後の空腹もあり全員完食。満腹となりいよいよ温泉へ・・・こじんまりとしているが露天風呂、サウナもありなかなかのもの。中国人は温泉などの公衆浴場は好まないと聞いていましたが、殆どの方が楽しんでいました。他の入浴客は地元の方以外に登山、サイクリングで来ている方も多く、三頭山登山の基点である当地の場所柄を思わせます。それにしても、急な坂道を山奥までサイクリングしている人が多いのは驚きです。

入浴も終えさっぱりとしたところで、もう一箇所の滝を見終えて帰路へつき18時過ぎに日中学院へ到着し解散。皆さん心地良い疲労感を表情に浮かべながらそれぞれの家路につかれる。

最後に余談ですがバスで隣席となったS嬢、会話が途絶えないよう、それとなく新たな話題を出してくる自然な気遣いに内心驚く。日本の歴史にも通じておりお陰で楽しい会話が続けられ若年者に教えられた思いです。個人の接点が国際交流の原点であることを再認識した一日でもありました。

楽しかった数馬の旅

日本語科 1年A組 卓 展源

当日は涼しかった。日中学院の留学生は校友会の方々といっしょに数馬へ行った。

数馬に行くバスの中で私たちは日本人とずっとおしゃべりしていた。自分の国の面白いことを紹介しながら食べ物食べているうちに桧原村都民の森に到着した。

都民の森では森林セラピーロードというコースに行って、ガイドに案内してもらいながら山を歩いた。とてもさわやかで気持ちよかった。途中で滝の音が聞こえてきたので、みんな滝のほうに向かって歩き、写真を撮った。特に、名和さんはいいカメラを持っていて撮る技術も高いので、撮った風景がとてもよかった。また、みんなで集まっていっしょに写真を撮った。笑顔といい思い出が写真に残った。

それから、桧原村温泉センターに行った。「数馬の湯」に入る前に、昼ご飯を食べた。お風呂に入りがかったが、おなががいっぱいでしかもビールも飲んだので、やめておいた。私の故郷では食事して一時間ほど休憩してからお風呂に入ったほうがいいとも言われている。

温泉のあと、弘沢の滝を見学しに行った。帰りのバスで数馬の旅についてみんないろいろ感想を話していた。帰る時間がちょっと遅くなったけれど、みんなは少しも文句を言わず、楽しかったようだ。私も楽しかったが、あのとき食べ過ぎて温泉に入れなかったのは残念だった。また、機会があったら今度みんなといっしょに旅行に行きたい。(了)

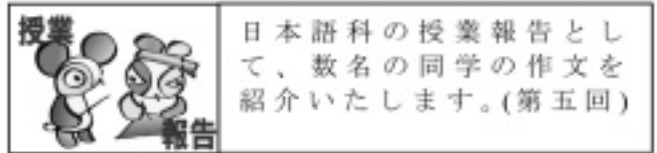
安藤彦太郎先生お別れの会

日中学院名誉学院長 安藤彦太郎先生は、10月27日、阿佐ヶ谷の河北病院で膀胱癌のため逝去されました。享年92歳。

通夜および密葬は、10月27日、28日、杉並の今川宝珠殿でおこなわれました。

「安藤彦太郎先生お別れの会」は日中学院主催で 1月24日11時から日中友好会館大ホールでおこないます。

当日は平服でお越しください。なお、勝手ながら、ご香典ご供花の儀は、固くご辞退申し上げます。



これからの新しい産業

日本語科2年2組 崔秀燕

今、世界は高齢化、環境問題、経済危機などさまざまな問題を抱えている。各国ともこのような問題に対して様々な工夫をしなければならない。これらの問題をどのくらい解決できるかは、その国の存続に深い関係があると思う。

まずは、超高齢化社会を克服しなければならない。

だんだん働く人が減って、お年寄りの介護をする人が現在よりもっと必要になる。それに対応するためには、介護ロボットの開発をする。開発は早く進められれば進められるほどいい。

お年寄りを介護するだけでなく、工場で働いて人件費を下げたりすることができるようなロボットも開発できたらいい。

また、深刻な環境問題に対応して、低炭素社会を目指さなければならない。たとえば、水素自動車、太陽光発電、これらが開発されたら環境問題で一番深刻な温室効果ガスを大幅に削減できる。

こうした世界最高水準の技術に磨きをかければ、日本は国際競争に勝てる。

図書室 だより

中国語で 読もう♪

『我々は同志小林の血路に沿って前進し握手する』

これは1932年、魯迅が小林多喜二の特高警察による拷問死に送った弔電です。

今月も中国語の読み物にチャレンジ！そして裏を知る事で面白くなる歴史をご紹介します。

●《蟹工船》 小林多喜二著 叶渭渠译 译林出版社

2007年より世界は不況に陥り日本の経済も低迷。派遣労働者の解雇、中小零細企業の倒産、ホームレス等・・・中国語いわく“新穷人”が生まれた。現代の“新穷人”はまさに1929年著『蟹工船』の漁夫の再来とし、当プロレタリア小説は80年後再びブームとなり、世界で紹介された。

●秦文君小说系列《男生贾里》 秦文君著 作家出版社

小学生のチアリ君はどこのクラスにもいそうな悪戯好きな人気者。二卵性双生児の妹メイちゃんを未来の大女優にしようと学芸会で愉快的悪戯をたくらむ。個性あふれるクラスメートやユニークな先生、家族たちとの笑いが盛りだくさん。全国優秀児童文学賞をはじめ、数々の賞を受賞。

先に日本語版『上海ボーイ・チア・リ君』片桐園訳 岩崎書店を読むのもおすすめ。トリ

プルA並みの愉快で乗りのよい翻訳に原文を読みたくなる。

●《拥抱》 张小娴著 天津人民出版社

抱擁—ハートにグッとくるエッセイ集だ。若年層に共感を得ることで人気の高い女性作家が、ぬくもりタッチで女・男・生活の面々をみつめ語る。言葉もわかりやすく読みやすい。1テーマ1ページの短い文章なので飽きずに読める。

●《1978—2008 流行词语看中国》 高虹著 四川文艺出版社

この本がなぜ面白いかというと、私たちに人気の作家やスター、歌手、面白かった映画や高視聴率ドラマなど、楽しく話題になったお気に入り豊富に載っているからである。一般社会の流行語も身近でわかりやすいものが充実。総計300語を一年ごとに紹介。

★漫画もいっぱい！

『鉄腕アトム』『火の鳥』『ブラック・ジャック』『三つ目がとおる』『ブッダ』など、手塚治虫漫画全集をはじめ、『ドラゴンボール』『サザエさん』『ちびまるこちゃん』『ドラえもん』、宮崎駿アニメなど、中国語版マンガは約500冊も！



裏を知れば面白い

●『満州裏史 甘粕正彦と岸信介が背負ったもの』 太田尚樹著 講談社

「五族協和」「王道楽土」—現在ならまさに流行語大賞といったこのフレーズの生みの

親は世界的有名な指揮者小沢征爾の父、小沢開作であった。

殺人冷血鬼イメージの甘粕正彦の意外な人情や男気溢れるカリスマ的素顔。彼に魅せられた牢獄仲間が出所後甘粕旦那を慕い、満州に馳せる。

岸、甘粕の知られざる裏。二人はなぜ、どの様にして満州建国に力を注ぐことになったのか。

●『大地の咆哮 元上海領事が見た中国』 杉本信行著 PHP 研究所

2004年、上海の日本総領事館の書記官がスパイ容疑をかけられ、遺書を残して自殺した。

本書は当時上司であった著者が末期癌を宣告され余命わずかの境地となった時、亡き部下のためにも中国の真実をと、入院中の病床から執筆した渾身の血著である。驚愕的なその真実の訴えは1974年北京での語言研修から始まる。

◇ 新着図書 ◇

『唐代の人は漢詩をどう詠んだか—中国音韻学への誘い』大島正二 岩波書店／『中国環境ハンドブック（2009—2010）中国環境問題研究会編 蒼蒼社／《常识》梁文道 广西师范大学／《青春微凉不离伤》米小苏 北京燕山／《一句顶一万句》长江文艺／《中国流行语2009发布榜》文汇／《日汉双解日语副词场面会话》(附光盘一张)大连理大

◇ 冬休みのおしらせ ◇

休室期間：12/23～1/11
在籍・継続の皆様には通常より多くの貸出サービスを行いません。どうぞご利用ください。

12月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
		1	2	3	4 ●本科 10年度 一次募集締切	5 ●本科研究科 学内推薦面接 ●別科 公開講座
6 ●本科 一次入学試験日 ●日本語能力 試験日	7	8 ●本科 一次試験 合格発表	9 ●本科 二次募集 受付開始	10	11	12 ●本科 定期試験 (~12/18) ●別科 公開講座
13 ●教職員全体会議	14	15	16	17	18 ●日本語科 2学期授業 最終日 ●本科 授業最終日	19 ●本科研究科 授業最終日 ●日本語科 冬休み(~1/11)
20 ●本科 冬休み (~1/11)	21	22 ●別科235期 授業終了日	23 ●別科冬休み (~1/11)	24	25 ●仕事納め	26 ●冬休み 学院閉門(~1/5)
27	28	29	30	31		
●1月の日中学院 ・6日…仕事初め 学院開門 ・8日…別科 公開講座 ・9日…別科 公開講座			・11日…成人の日(お休み) ・12日…本科・日本語科・別科 授業開始日 ・15日…本科 二次募集締切 ・15日…日本語科2年 国会見学		・17日…本科 二次入学試験日 ・26日…本科日本語科 合同弁論大会 ・30日…本科 公開講座 ・30日…校友会 講演会	

■寄贈

下記の方より、図書室に寄贈がありました。ありがとうございます。
◎芳沢ひろ子様(著者)より
『カルタ式中国語基礎成語 260』

以上

■耳目

●訃報 元学院長安藤彦太郎先生が10月27日他界されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。お別れの会については7頁をご覧ください。

●訃報 岩井伸子講師のお母様が11月3日他界されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

●すばる文学賞・入選 別科夜間講座作文Ⅱの小平又柔(温又柔)さんが第33回すばる文学賞佳作に入選されました。入選作は『好去好来歌』。おめでとうございます。

●閲覧用図書寄贈 大西登美子さんより『私の中国』を寄贈いただきました。ありがとうございます。学院ラウンジで閲覧できます。

●全日本スピーチコンテスト 本科1年生の成千絵さんが、第27回

全日本スピーチコンテスト東京大会(朗読の部)【一般部門】において優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。

●一月から始まる講座

・通訳案内士試験受験対策講座(A/B)
・安老師の朗読講座

・中国語検定2級対策講座
・中国語基礎速成(1月班)
※詳しくはチラシをご覧ください。

●別科236期受付開始

12月1日(火)9時よりお申し込み受付いたします。窓口・お電話によるご予約も可能です。ご予約の際は受講証をご用意いただけると幸いです。詳しくは事務局まで。

●年末年始のお知らせ

・閉門:12月26日-1月5日
※年内は25日仕事納め、新年度は6日仕事初めとなります。

●池袋日本語角はじまりました

日中相互学習・交流活動として何度か「池袋漢語角」を取り上げてきましたが、11月8日より新たに「池袋日本語角」という日本語サークル活動も始め

たそうです。興味がある方は足を運んでみてはいかがでしょうか。



会場:西池袋公園

日時:14:00-17:00(毎週日曜)

主催:日本橋報社

連絡先:03-5956-2808

詳しくはHPをご覧ください。

<http://duan.jp/news/jp/20091108.htm>

■編集後記

本科在学中、学院長をされていた安藤先生の講義を受けたことがありました。出張から戻ってすぐ訃報を目にした際、講義中浅学の身で不躰な質問をしてしまった私に丁寧にご教示いただいたことなど鮮明に思い出しました。心からご冥福をお祈りいたします。(Y)